

11月の本
ベスト5

山陽堂だより 77

2015年12月師走

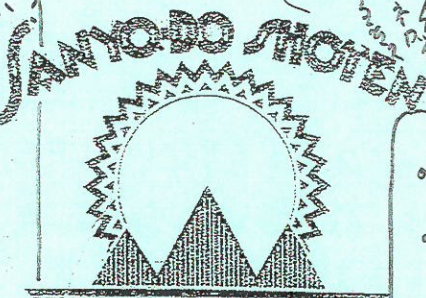
1. カールの降誕祭
エルティエント・ファン・セラハ著
2. ラオスにいったい
何かあるというんですか?
村上千枝著
3. 雑文集 村上千枝著
4. ホーレのうなことは。
糸井重里著
5. 境遇
漆かなえ著

11月の店員雑記
ベスト5

1. GINZA 12月号
ネコとソテツ
2. エルジャボロン12月号
最速おしゃべりスタッフ
3. SPUR 12月号
STORIES TO TELL
4. 家庭画報 12月号
華やきのテーブルコーディネート
5. Vogue Japon 12月号
ちあきと暗いほうか、好き。

12/16(水)~2016
谷口智則10周年展 (来年は
5周年)

日サルクンとモンキー口
谷口さんからひとこと
僕は、12年前のちやうど
申年にサルクンの絵本を
絵本作家としてデビューした。
12年かけて一回り成長した
サルクンを見てもうえるような
展示になればと思っています。



山陽堂書店

表参道

11にネ-ソ245

12月1日(火)~12月25日(金)

点灯時間: 日没~21時

* 19日(土)~25日(金) 日没~22時

場所 けやき木 明治神宮交差点

榎本橋 神宮橋交差点~表参道交差点
LED 約50万球

11/27~12/12

「本と版画」開催にふせて、タチシエンさんの談

僕は装画の仕事をするとき、まず本屋さんにと
その本が出来上がった置かれているところを
想像します。

その想像の本は、たくさん並んで本の
中からハッと目に入ってきて、人の心を
揺さぶります。その想像の本に、
少しでも近づきたいと思いつながら、
いつも仕事をしています。

今回は、本の仕事でこれまで描いてきた
版画を展示しております。ぜひ、ご覧下さい。

ウィリアム・シェイクスピア
の言葉

「今が最悪の状態と
言える間は、まだ
最悪の状態ではない。」

年末年始営業時間

- ・ 12月29日(火) 11:00~16:00
- ・ 12月30日(水)~1月4日(月)
休業
- ・ 松の内(水)~7(水)
11:00~18:00
- ・ 1月8日(金)より平常通り

12月7日(月) 19時より

内田樹さんから語る

「お話をこれからはじめよう」といっていた内田樹さんの本は『ためらいの倫理学』でした。

「今の時代 - 東京で生きること、地方で生きること」

聞き手は、ミシマ社の三島邦弘さん。トークが終ったあと「なんとか、マッサージにいったあとみたい。肩の力が抜けた!」と言っている参加者の方がいました。それは10年ほど前、「はじめまして」お客様から内田樹さんの本を紹介していたときと同じ言葉でした。内田樹さんは、教育者としても、武道の指導者としても、「腹から腹へ」のシフトを説いておられます。「肩の力が入った状態」では、なにをやってもたいたい失敗しますから。」と。

「今の時代 - 東京で生きること、地方で生きること」

その土地と自分を結びつける「物語」が大切なことというお話をしました。来年、山陽堂書店は、青山で本屋を創業して125年。これから、青山と山陽堂の物語を紡いでいきたいと思っています。

ミシマ社から
出せる独自の雑誌
「ちゃら」は
年500万税
特集1. 政治家のすゝめ
特集2. 今までの「就活」

『ためらいの倫理学』内田樹著
単行本、小冊子、物語語 角川文庫664円税
総じて、私がこの本の中でやっていることは、
「どちらにしろどちらの言い分もあり、どちらにしろどちらの
言い分もある。ということです。これは一つだけのこと」
という、ふたつの組織内人間が日々行っている
「共同監視」に類似したものである。おかしな振舞い-

11/27~12/2 タタシユン個展 『本と版画』ロイヤル・ポート・トリ

- ・タタさんとおしゃるそうですか。たてえいではないですか。(笑)
- ・「ローマの休日」のように色彩が濃く感じました。
- ・作品をみたとき、ソックとマセられる感覚があります。版画でこんなにも「怖さ」を表現できるのって驚きました。怖いものか苦手な本ですか、何故か慰められる不思議な世界観です。
- ・強いのになやらかくてひきまれました。
- ・版画のことはよくわかりませんが、ひきまれました。知りたーいと思いました。モトローの世界がすばらしい。来年、
- ・不器用なものにそと寄り添う
淡々とした光のタタさんの作品世界
すばらしいです。

うーっ！
まかせよう
きいてみるよ

サレくん

来々

うーっ！
まかせよう

